



平成 29 年 9 月 8 日
海上保安庁

日本の海を拡げた西之島

～ 水路記念日特別展示 ～

海上保安庁は、9月15日から27日の間、海洋情報資料館（東京都江東区）において水路記念日特別展示を開催します。

本展示では、西之島にスポットを当てて、現地調査の実施から海図発行（管轄海域の拡大）に至るまでのプロセスのほか西之島に関する成果を一挙に公開します。

領海と排他的経済水域（EEZ）を合わせて「管轄海域」としています。

9月12日は、日本が海洋調査と海図の作製のため、兵部省海軍部に水路局を設置したことを記念した「水路記念日」で、今年で146回目を迎えます。

この記念日を機に、当庁業務や海への関心を高めていただくために、火山活動で大きく形を変えたことで、我が国の管轄海域を拡げることになった「西之島」にスポットを当て特別展示を開催します。

1 主な展示内容

- ・現地調査から海図ができるまでのプロセス
- ・海図による西之島の変遷（大正元年（初版）～現在まで）
- ・写真、動画で巡る西之島
- ・西之島の溶岩
- ・西之島周辺海域の立体地図

2 期間

平成29年9月15日（金）から27日（水）まで
（火、木、土を除く）午前10時から午後5時（入館無料）

3 場所（詳細は別紙）

国土交通省青海総合庁舎 1階 海洋情報資料館

（会場には駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。）

海洋情報資料館では、特別展示のほか、常設展示として、明治時代からの古い海図や歴史的な調査機器など、海洋情報業務に関する貴重な資料がご覧いただけます。



海洋情報資料館

住所 東京都江東区青海 2 丁目 5 番 1 8 号 国土交通省青海総合庁舎

交通 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車、徒歩 5 分

(テレコムセンタービル交差点から 120m)